

受けよう!がん検診



がんは30年以上日本人の死因第1位
日本人が一生のうちにがんと診断される確率は
2人に1人

がんの現状

がん罹患数の順位(2019年)

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	肺	胃	乳房	前立腺
男性	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

元データ:全国がん登録罹患データ

がん死亡数の順位(2021年)

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

元データ:人口動態統計がん死亡データ

がん検診を受けることのメリットとデメリット

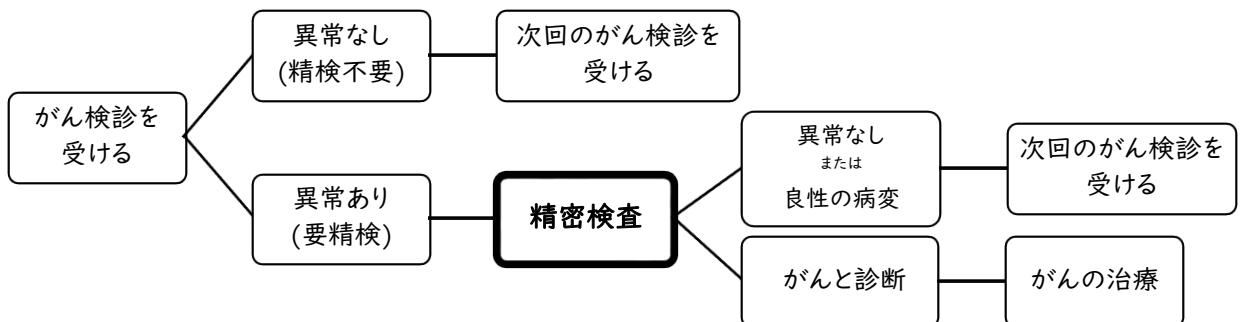
メリット

- ・がんの早期発見・早期治療につながる。
- ・がんになる前の病変を発見できる。
- ・死亡リスクが減少する。
- ・早期に発見できるため、侵襲の軽度な治療で済む。
- ・「異常なし」と判定された場合に安心感を得ることができる。

デメリット

- ・結果的に不必要な検査や治療を招く可能性がある。
→過剰診断、偽陽性
- ・がん検診でがんが100%見つかるわけではない。
- ・検査に伴う偶発症の問題がある。
- ・受診者の心理的影響がある。

がん検診の流れ



精密検査について

- ・検診は自治体と、各医療機関が連携して実施しています。精密検査の結果は関係機関で共有されます。
- ・“要精密検査”となった場合は、必ず早めに精密検査を受けましょう。
- ・普通寺市では必要に応じて受診者に連絡を行う場合があります。

なぜ、がん検診が必要か

がんにかかっている場合でも、初期の段階ではほとんど自覚症状がなく、症状が現れたころにはがんが進行しているケースも少なくないのです。

大切ないのちを守るために、生活習慣の改善とともに定期的ながん検診を受けましょう。

国の指針で定めるがん検診の内容

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診・胃部 X 線検査または胃内視鏡検査のいずれか	50 歳以上 ※胃部 X 線検査については 40 歳以上に対し実施可	2 年に 1 回 ※胃部 X 線検査については年 1 回実施可
子宮頸がん検診	問診・視診 子宮頸部の細胞診及び内診	20 歳以上の女性	2 年に 1 回
肺がん検診	質問(問診)、胸部 X 線検査及び喀痰細胞診	40 歳以上	年 1 回
乳がん検診	問診及びマンモグラフィ	40 歳以上の女性	2 年に 1 回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40 歳以上	年 1 回

善通寺市が実施しているがん検診

種類	検診項目	対象年齢	受診間隔
胃がん検診	問診・胃部 X 線検査または胃内視鏡検査のいずれか	40 歳以上	年 1 回
子宮頸がん検診	問診・視診・子宮頸部の細胞診及び内診	20 歳以上の女性	年 1 回
肺がん検診	問診(質問)、胸部 X 線検査及び喀痰細胞診	40 歳以上	年 1 回
乳がん検診	30 歳代:問診・超音波検査 40 歳以上:問診・マンモグラフィ	30 歳以上の女性	30 歳代:年 1 回 40 歳以上:2 年に 1 回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40 歳以上	年 1 回
前立腺がん検診	問診・血液検査(PSA 検査)	40 歳以上の男性	年 1 回

※ 早期発見のために、定期的に検診を受診しましょう。

※ すでに自覚症状がある場合は、早めに医療機関を受診することをお勧めします。

ブレスト・アウェアネスをご存知ですか？

自分の乳房の状態に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活することです。
具体的には、日ごろの生活の中で次の4つを行きましょう。

1. 自分の乳房の状態を知る(乳房のセルフチェック)
2. 乳房の変化に気をつける(しこりや皮膚のくぼみ、血性の乳頭分泌等の有無)
3. 乳房の変化に気づいたら、すぐに医療機関に相談する。
4. 40 歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける。

がん検診の申込み・問い合わせ先

善通寺市保健課 ☎0877-63-6308